

2023年度 学校評価シート（学校法人明星学園 浦和学院高等学校）

目指す学校像	浦和学院高等学校の建学の精神である「吾道一貫」の考え方を実践し、「忠恕」の精神を貫き、社会に貢献できる人材の育成を目指す。 具体的には、「克己」自己本位な欲求を適切にコントロールすること、「仁愛」他の人達の役に立ちたいと思う気持ちをもつこと、「共生」互いに必要な人となりかけがえのない仲間となって共に生きることを実践し、全ての生徒が「想像以上の未来」に向かって進む学校となることを目指す。
--------	---

重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 本校の教育理念に共鳴する入学定員の確保を目指す。 ② 生徒観察と生徒指導の充実を図り、交通事故や問題行動の予知予防に努め、可能な限り非卒業率（転退学率）の低下を目指す。 ③ 誠実で丁寧な進路指導を実践し、全生徒が各々の志望に応じた「より良い進路先」に進むことを目指す。 ④ 生徒達が多様性に触れる学習機会をより多く設定し、全生徒が国際教養とライフスキルを身に付けることを目指す。 ⑤ 「浦学ふぁみり～」としての活動を推進し、保護者の会、後援会、同窓会等との連帯と連携を強化することを旨とする。
------	--

評価	達成度 A	ほぼ達成 (8割以上)	達成度 B	概ね達成 (6割以上)	達成度 C	変化の兆し (4割以上)	達成度 D	不十分 (4割未満)
----	-------	----------------	-------	----------------	-------	-----------------	-------	---------------

年度目標			年度評価（3月末）			評価	
重点目標と評価項目	具体的方策	評価指標	達成状況	課題・改善策	自己	関係者	
① 入学定員の確保	オープンスクール(7回)	昨年度 9,872名	来場者数 9,703名	☆来場者数、11,000名以上 → 募集広報活動の拡充	A	A	
	フェスタ(1回)、中学校PTA学校見学会 中学校訪問(約400件)、校外学校説明会 塾訪問(約1,500件)、校外個別相談会	定員 800名	個別相談件数 4,327件 志願者数 3,484名 入学者数 964名	☆定員 800名確保 ☆電子出願システムの充実 ☆入試情報発信の充実	A	A	
②	個別面談の充実	クラス担任による定期面談(4回)	非卒業率 5%未満	非卒業率 6.1%	☆eポートフォリオの活用※1 ☆アンケート結果の分析	A	A
	生徒情報の収集	学校生活総合アンケートの実施					
	懲戒処分の減少	日々の諸注意諸連絡、善行賞及び奨励賞	昨年度 82名	懲戒処分者数 88名	☆SHR等の指導時間の確保 → 情報共有システムの活用※2	B	B
	自転車指導の充実	自転車運転免許制度(浦和東警察と連携) 交通安全講演会、スクエアドストレート	昨年度 49名	自転車違反者数 25名	☆自転車整備状況の調査 → 保護者との連携の推進 ☆交通安全の意識向上 → 緊急連絡システムの活用※3	B	B
	交通事故の減少	校外補導、自転車ヘルメット常備指導	昨年度 55件	交通事故件数 45件			
メンタルケア	カウンセリング室の常設	昨年度 6,958件	相談件数 5,961件	☆ピア研修の促進	A	A	
③ 進学実績の向上	模擬試験(1年5回、2年4回、3年2回) キャリアガイダンス、学部学科説明会 大学短大説明会、各種の進学講座 推薦入試対策(面接・小論文の指導等)	四大合格率 80.0% 大短合格率 85.0% 昨年度 有名大学合 337名 難関大学合格 56名	四大合格率 84.9% 大短合格率 87.9% 有名大学合格 384名 難関大学合格 59名	☆四大・大短合格率の維持 ☆入試制度改革への対応 → 一般入試対策の推進 探究型学習の研究	A	A	

重点目標と評価項目		具体的方策	評価指標	達成状況	課題・改善策	自己	関係者
④	学習の成果	放課後学習支援センター（UGT）利用促進 英検取得進級の推進	年間利用人数 20,000 名 卒業時準 2 級合格率率 25%	利用延べ人数 18,294 名 卒業時準 2 級合格率率 25%	☆利用人数の増加 ☆合格率率の増加	B	B
⑤	特進実績の向上	模擬試験（1 年 4 回、2 年 5 回、3 年 9 回） クラッシィ、ディグ等による ICT 学習 各種特進講座、英語多読、自習室開設	昨年度 国公立大合格 9 名 早慶上理合格 9 名	国公立大合格 8 名 早慶上理合格 0 名	☆難関大合格数の増加 → スクール TOMAS との連携を中心とした有機的プログラム※4 ☆東大・早慶への合格者の増加 → Tプロジェクトの推進	B	B
⑥	国際教養の育成	国際的多様性に触れる機会の拡大 姉妹校交流行事、留学生の受入 夏季短期留学、選択制海外修学旅行 スピーチコンテストの実施 IB 教育の展開(探究的学習 他)	姉妹校交流(20 回) 留学生の受入(2 名) 国際交流活動の振興 全類型 IB 学習展開	姉妹校交流回数 韓国(2 回)、台湾(8 回)、 中国(1 回)	☆IYLS への継続参加※5 → グローバルリーダーの育成 ☆姉妹校交流の活性化※6 → 生徒代表団の派遣	B	B
	ライフスキル教育	各種講演会(芸術鑑賞会、国連の友 AP 他) ボランティア活動、募金活動 地域交流活動(カンボジア、石巻 他)	昨年度 7 回 昨年度 220 名 昨年度 74 名	各種講演会 12 回 参加生徒数 619 名 参加生徒数 39 名	☆ライフスキル教育の推進 → 多様性に触れる機会の設定 セルフチェックの実施	A	A
	部活動の活性化	部活動紹介、部活動探検隊 安全管理のための部活動顧問会議 応援指導部（ファイヤーレッズ）の設置	昨年度 1,752 名 全国大会出場 昨年度 6 部活動	総部員数 1,925 名 全国大会出場 野球部等 7 部活動	☆応援活動の推進 → ファイヤーレッズの増強 一般生徒の参加促進	A	A
⑦	保護者との連携	総会・支部会・学年会・学級会・個別面談 学校行事の保護者参加・合同補導等 れんらくアプリ・セイフティリンク 24 浦学ふぁみり～ホームページの開設	交流活動の活性化 DXによる情報共有 公式HPの更新	コロナ禍の活動制限 連絡システム整備※3 HPブログ毎日更新	☆れんらくアプリとセイフティリンク 24 の利用区分の明確化 ☆交流行事の整備・活性化	A	A
	外部へのPR活動	公式ホームページによる情報発信	昨年度 111 回	HP Information 127 回	☆Information 以外の充実 → 基本情報の年次更新	A	A

※1 … eポートフォリオ → 生徒自身が各種の自己データを累積するシステムです。

※2 … 情報共有システム → ベネッセの「クラッシィ」、教員間、教員と生徒・保護者との情報共有システム。特進類型では、学習面でも活用している。

※3 … 連絡システム → 出欠連絡・資料配信用の「れんらくアプリ」と、安否確認・登下校情報等の緊急連絡用の「セイフティリンク 24」を併用している。

※4 … スクール TOMAS との連携 → スクール TOMAS による 9・10 時限目の放課後講座や 8 限目のクオリティタイムの有効活用等による進学実績の向上を図る。

※5 … IYLS → アジア地域の 6 か国（日・中・台・新・馬・尼）の高等学校が集まり、国際課題について議論し、また各国の文化交流を行う国際会合を行う。

※6 … 姉妹校 → 中華人民共和国に 2 校（上海、大連）、中華民国（台湾）に 3 校（台北、宜蘭、台南）、韓国（大田市）の姉妹校があります。

学校評価（関係者評価） 年 月 日

役職等 氏名 印